

大阪商業大学大学院
地域政策学研究科 地域経済政策専攻

入学試験問題(留学生)

【博士前期課程】

2020年度 (秋期) 作文(日本語)
2020年度 (春期) 作文(日本語)

作文（日本語）問題

日本では、少子化が進展したことと、平均寿命が延びたことによって高齢者の占める割合が増加している。1990年の国勢調査時点で、全人口の12.1%であった65歳以上の人口割合は、2015年には26.7%に増加し、さらに国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、2040年には全人口の3分の1を超えようとしている。

高齢化の進展は、社会に様々な課題を生じさせる。国家レベルの課題と地域レベルの課題の二つの側面から、生じると考えられる課題をとりあげて、またその解決策を説明しなさい。

【答案作成上の注意】

1. この試験は、日本語による表現能力を判定するものです。
したがって、的確な日本語の文章で記述してください。
2. 国家レベルの課題と地域レベルの課題の二つに分けて、両方を解答してください。
また解決策については、あなた自身の考えを十分に記述してください。
3. 取り上げる課題は、どのような観点からでもかまいませんが、地域政策学研究科の試験であることを理解して解答してください。

2020年度 大阪商業大学大学院入学試験 地域経済政策専攻(春期)【博士前期課程】
作文(日本語)問題

近年、東アジアならびに東南アジア地域では、自家用車が急速に普及している。自家用車の普及は、人々の生活の利便性を高める一方、環境や公平性など、さまざまな問題を生じさせる。

日本においては、20世紀末よりいち早く自家用車が普及した地方都市において、大型商業施設をはじめとする都市機能の郊外(都市周辺部)への移転によって、中心部の商業機能が衰退するなど、地域構造の変化がみられた。またバスなどの公共交通利用者の減少によって、公共交通のサービスが低下し、高齢者などのように自家用車を運転できない住民の移動が困難となった。

このように地域における自家用車利用の増加は、多くの課題を抱えている。そこであなたがよく知っている国もしくは地域において、自家用車の普及がどのように地域を変えつつあるのか、またどのような課題があるのかを述べて、その課題の解決策を説明しなさい。

【答案作成上の注意】

1. この試験は、日本語による表現能力を判定するものです。
したがって、的確な日本語の文章で記述してください。
2. 課題の解決策については、あなた自身の考えを十分に記述してください。
3. 取り上げる課題は、どのような観点からでもかまいませんが、地域政策学研究科の試験であることを理解して解答してください。